＜資料２＞

第２回（仮称）小網代大橋 有識者合同ヒアリング

令和６年３月19日

神奈川県　横須賀土木事務所　道路都市課

次第

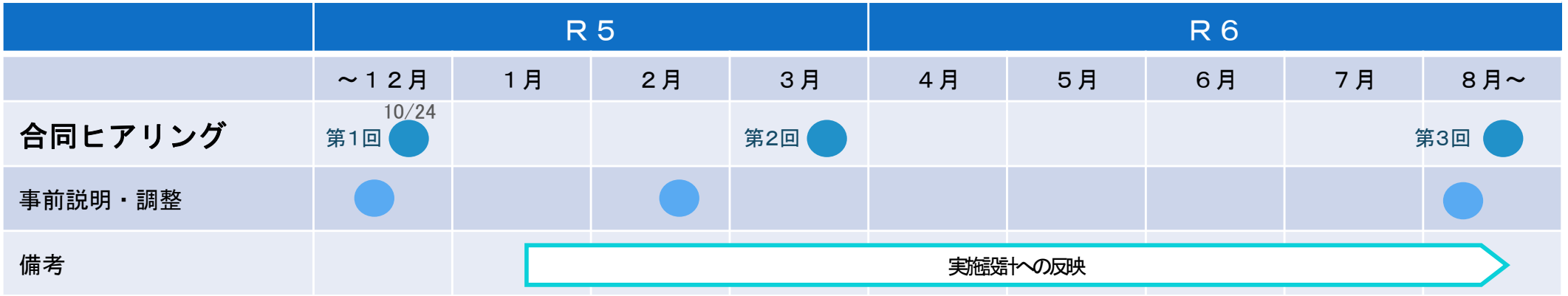
○　橋梁デザインコンセプト案 及び　橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類（投物防止柵・高欄（色））
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

○　環境保全措置案 及び 再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

有識者合同ヒアリングのスケジュール



	第１回ヒアリング	第２回ヒアリング	第３回ヒアリング
概要	行政案の説明及び意見交換	意見を踏まえた方向性の提示	結果（完了）報告
ヒアリングの主な議題	１．本ヒアリングの概要 ２．事業概要 ３．これまでの経緯 ３－１．橋梁予備設計 ３－２．オープンハウスの意見聴取結果 ４．橋梁詳細設計に向けた行政案の説明及び意見交換 ４－１．橋梁詳細設計に向けた行政案 ⅰ 橋梁デザインコンセプト素案及び橋梁デザインコンセプト素案に基づくデザイン素案の提示 ⅱ 環境保全措置素案及び再生計画素案の提示 ４－２．意見交換	○ 橋梁デザインコンセプト案 及び 橋梁デザインコンセプト案 に基づくデザイン案の提示 1. デザインコンセプト 2. 上部桁・橋脚 3. 美観対策 4. 柵類（投物防止柵・高欄（色）） 5. 歩道舗装 6. 照明 7. 半島上の利活用 8. 眺望スペース ○ 環境保全措置案 及び 再生計画案の提示 9. 環境保全措置 10. 再生計画 11. 地域活動	１．詳細設計の結果 １－１．橋梁デザインコンセプトに関する対応結果 １－２．環境保全措置及び再生計画に関する対応結果 ２．提言（とりまとめ）

次第

○　橋梁デザインコンセプト案 及び　橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類（投物防止柵・高欄（色））
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

○　環境保全措置案 及び 再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

1. デザインコンセプトの確認

視界に広がる空・海と調和する、洗練された橋梁による新たな景観の創出と、公共事業による豊かな自然環境の再生

外部景観

スカイラインに馴染み、引き立たせる外部景観

貴重な視点場の一つである「小網代の森」からの眺望を阻害しないよう、藤ヶ崎半島上の橋が外部からなるべく見えないように配慮する。一方、海上では、白髭神社をはじめとした湾内からの眺望と調和する、洗練されたデザインとなるよう配慮する。
「見せない部分」と「見せる部分」のメリハリにより、既存景観の美しさをより引き立たせる外部景観を創出する。

小網代の森アカテガニ広場からの眺望

内部景観

景勝地としての話題性があり、人々が通りたくなる内部景観

空と海、相模湾越しに富士山を望める架橋位置であるという特性を活かし、新たな景観スポットとなることが期待できる。また、開放的な空間と眺望により、橋を渡ること自体に楽しさや喜びを感じられ、人々が通りたくなる内部景観を創出する。

架橋位置から相模湾方面への眺望

自然

より豊かな自然環境の再生

架橋位置は、近郊緑地保全区域に指定されており、様々な動植物が生息・生育している。橋梁工事にあたっては、自然環境に最大限配慮し、工事完了後には周辺環境に見合った植栽を行い、より豊かな自然環境への再生を目指す。

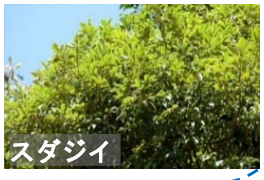
小網代の森の干潟

小網代に生息するカニ

エビネ

キンラン

ナギラン


スダジイ

前回意見

ヒアリング

- 外部景観については、小網代湾内からの眺望だけでなく、集落からの見え方等についても確認することが望ましい。
- 橋脚と市道があまりにも近いと、橋の下を通る時の見通しが悪くなるため、ＣＧ等で確認・検討してほしい。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

2. 上部桁・橋脚の形状について

↑漁港から橋梁を望む

←漁港から橋梁を望む
（人の焦点距離で見た景色）

橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

環境保全措置案及び
再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を
踏まえて対応した項目

2. 上部桁・橋脚の形状について

↑市道から橋梁を望む

←市道から橋梁を望む
（人の焦点距離で見た景色）

橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

環境保全措置案及び
再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

3. 美観対策について（コンクリート橋における雨だれ対策）

□ 問題点

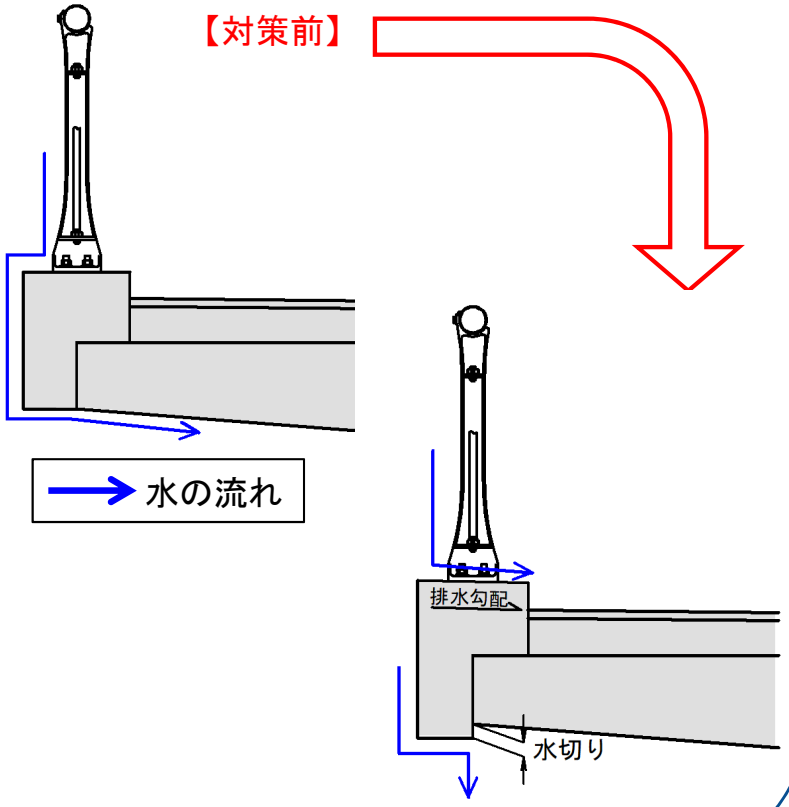
防護柵の支柱箇所で集中した雨だれによって、コンクリートが汚損し、美観を損ねてしまう場合がある。

横浜市　日野高架橋

山梨県甲府市　国道140号

□ 対策

・地覆天端に排水勾配を設ける。
　（排水勾配：2.0%）
・地覆に水切りを設ける。



前回意見（ヒアリング）

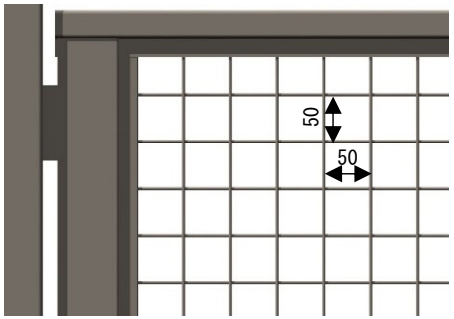
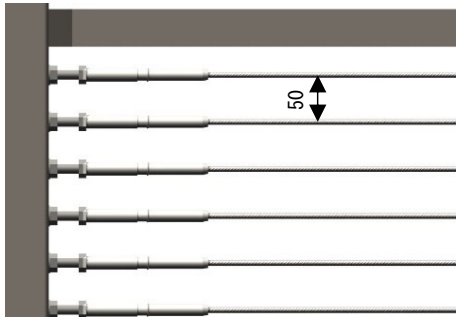
- 橋梁の色彩については、コンクリート色（無彩色）が良い。
- 雨だれで部分的に汚れることをなるべく防げるように検討してほしい。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

■ 第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

4. 柵類について

4-1 投物防止柵の製品の選定

	メッシュパネル	透明板	ワイヤー
材質	ステンレスφ3.2	強化ガラス	ステンレスワイヤーφ6
形状			
設計条件	・隙間を50㎜以下にすることで、缶コーヒー（φ53㎜）、細ペットボトル（φ60㎜）が投下できないようにする。 ・面部材は風圧・水平荷重に耐える固定方法が必要となる。（メッシュパネル、透明板は四方固定の額縁が必要。）		
透過性	・縦横のメッシュ格子により、透過性が低下する。 ×	・透明であるため、眺望性に優れる。 ○	・横格子のワイヤーにより、透過性がやや低下する。 △
圧迫感	・額縁で四方向を固定する必要があるため、圧迫感がある。 △	・額縁で四方向を固定する必要があるため、圧迫感がある。 △	・額縁による固定は横方向のみであり、圧迫感が軽減される。 ○
維持管理施工性	・汚れが目立たない。 ○	・他の防止柵に比べて汚れがつきやすく、定期的な清掃が必要。 △	・汚れが目立たない。 ・定期的にワイヤーの緊張調整が必要。 ・壁高欄に付けることができない。 ×
経済性	387,000（千円） ○	802,300（千円） ×	553,400（千円） △

※経済性…海上区間における施工費・諸経費込みの価格。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

4. 柵類について
4-2 柵類の色の選定

	シルバー色	グレーベージュ	ダークブラウン
色	アルミ素材	10YR6.0/1.0	10YR2.0/1.0
内部景観（海上区間）			
内部景観（半島区間）			
外部景観			
景観性	・ステンレスのメッシュパネルや壁高欄の色との相性が良く、色合いに統一感がある。	・自然に近い色合いであり、特に藤ヶ崎半島の新緑との相性が良い。	・古風な印象となる。 ・柵全体の存在感が増す。
経済性	791,700（千円）	809,600（千円）	809,600（千円）

※経済性…全区間における施工費・諸経費込みの価格。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

5. 歩道舗装の選定について

	歩道舗装
半たわみ性舗装	出典：https://www.toadoro.co.jp/business/product/93/
評価	• 空隙の多いアスファルト混合物による舗装を行った後、その空隙にセメントミルクを浸透させたもの。 • 白色のセメントベースに、黒い石のような模様の仕上がりとなる。顔料の添加により着色することも可能。 • 平坦性・平滑性が実現でき、快適な歩行性・走行性が期待できる。 • 施工性が良く、耐久度も高い。施工後、ひび割れが生じることはほとんどない。 • 塑性変形抵抗性に優れ、わだち掘れの発生を抑制できる。
経済性	41,100（千円） （通常アスファルト舗装の場合…27,400（千円）） ※諸経費込み。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

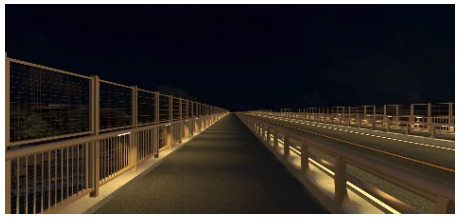
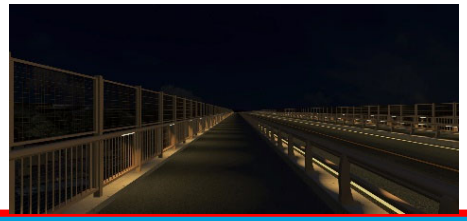
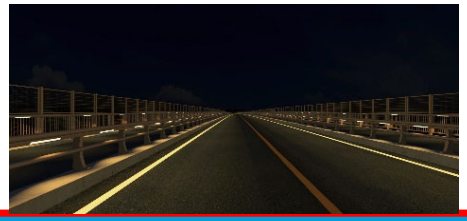
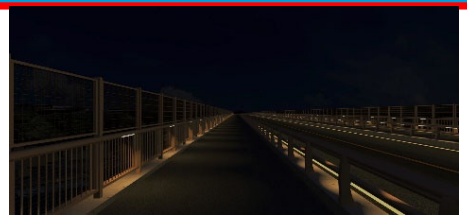
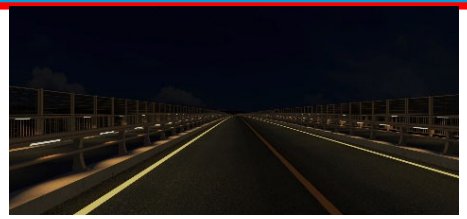
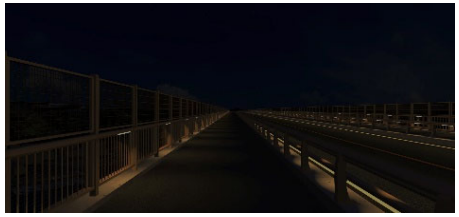
第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

6. 照明について

無段階調光を採用

⇒地元ニーズに合わせて、
供用開始後から明るさを
変更することが可能。

※調光100%とは…
輝度均斉度（路面輝度分布の均一の程度）の基準を満足し、かつ、防護柵の形状に適合させながら照明灯器具を配置した結果、発現される明るさのこと

調光	歩道	車道
100%		
50%		
40%		
30%		
20%		
10%		

「照明灯道路照明施設設置基準・同解説」の基準を満たす明るさ

可能な限り光源を少なくするとともに、
明るさも抑えて、生物と生態系に対する影響を最小限に留めていただきたい。

夜間の光が湾内に与える影響が心配。

前回意見

ヒアリング

オープンハウス

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

環境保全措置案及び再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

7. 半島上の利活用について

7-1 既存の回遊性と、本線がもたらす新しい回遊性の確認

前回意見

ヒアリング

- せっかく歩道を整備するのであれば、これまでできなかった回遊性が確保できるようにすると、より積極的な地域貢献になると考える。
- 面積もあり、アプローチも良いため、（藤ヶ崎半島は）身近なところで人と共生していける場として良いと思う。
- 散策のための通路も設けて、子供たちの環境学習の場ができると、良い森になると思う。

オープンハウス

- 歩いて渡る人が橋の途中で降りて楽しめるようになれば良い。

7. 半島上の利活用について

7-1 既存の回遊性と、本線がもたらす新しい回遊性の確認

前回意見

ヒアリング

- せっかく歩道を整備するのであれば、これまでできなかった回遊性が確保できるようにすると、より積極的な地域貢献になると考える。
- 面積もあり、アプローチも良いため、（藤ヶ崎半島は）身近なところで人と共生していける場として良いと思う。
- 散策のための通路も設けて、子供たちの環境学習の場ができると、良い森になると思う。

オープンハウス

- 歩いて渡る人が橋の途中で降りて楽しめるようになれば良い。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

■ 第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

7. 半島上の利活用について

7-2 半島上を利活用するために必要な要素の整理

参照　小網代の森案内図

7. 半島上の利活用について

7-2 半島上を利活用するために必要な要素の整理

②橋梁からの昇降施設　イメージ図

大阪府門真市　松葉跨道橋

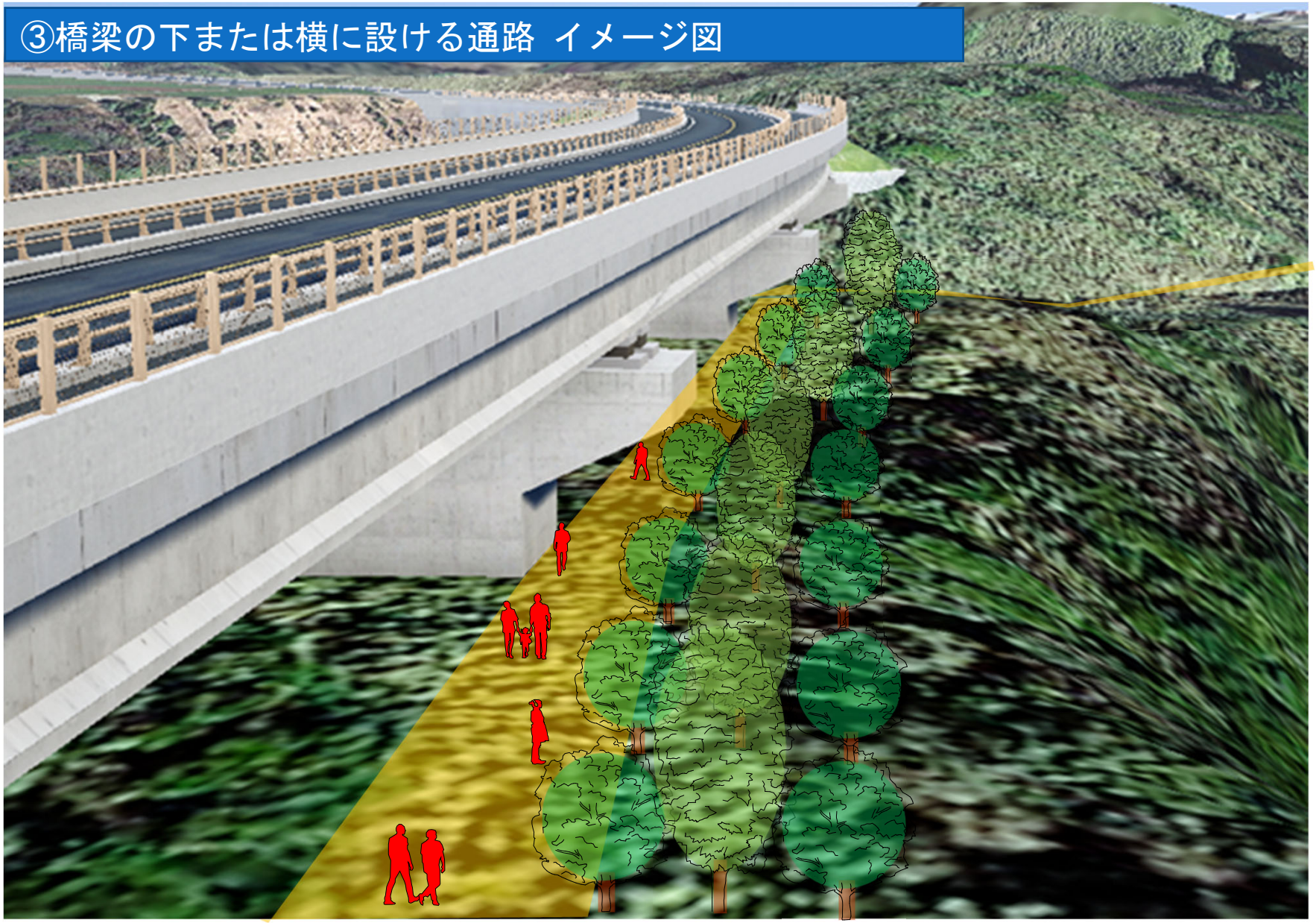
1箇所当りの概算工事費　80,000（千円）

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

7. 半島上の利活用について

7-2 半島上を利活用するために必要な要素の整理

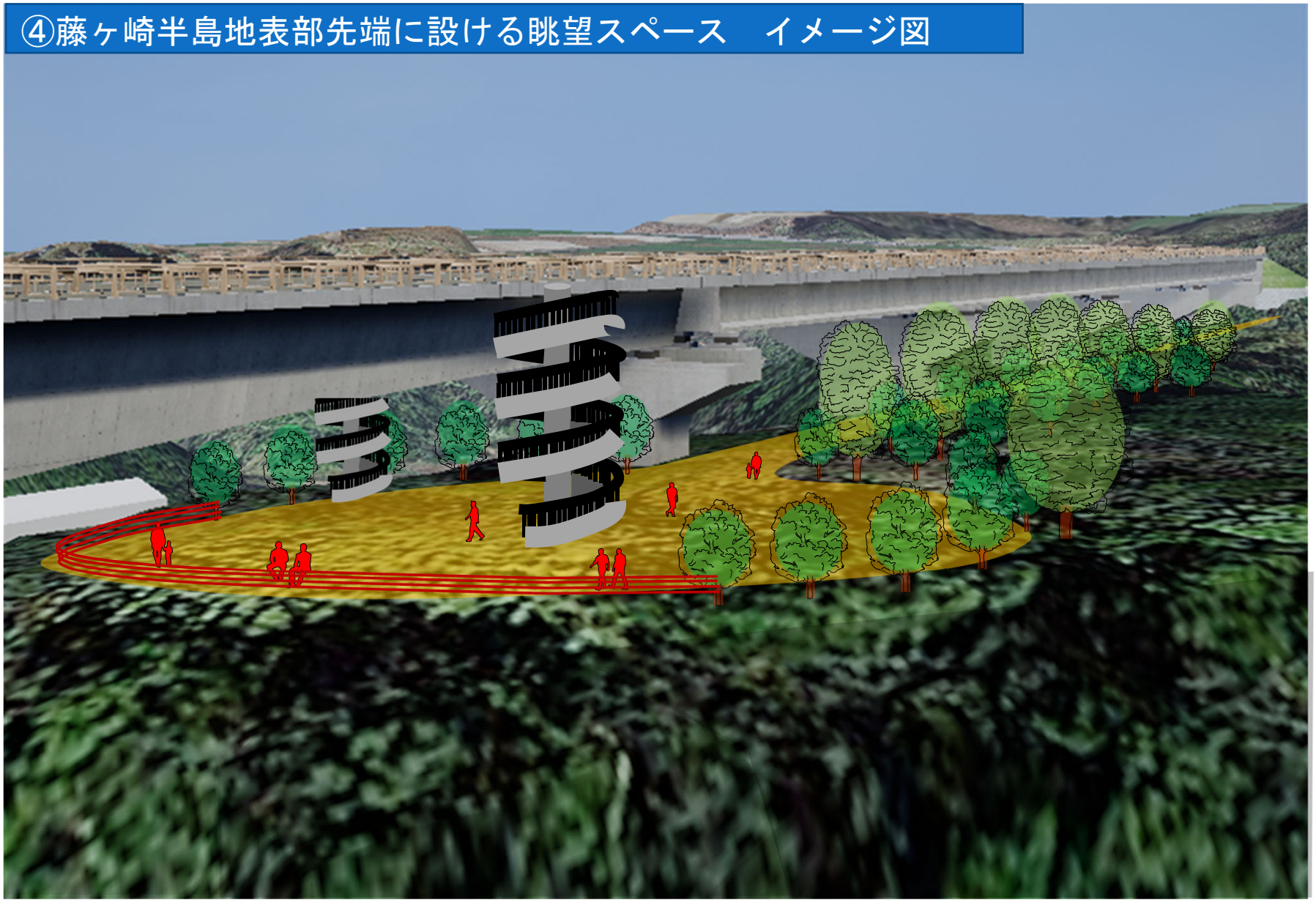


橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動
第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

7. 半島上の利活用について

7-2 半島上を利活用するために必要な要素の整理

④藤ヶ崎半島地表部先端に設ける眺望スペース　イメージ図



橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示

1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

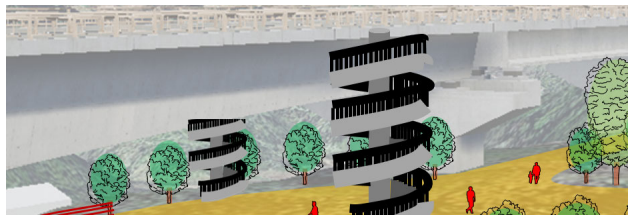
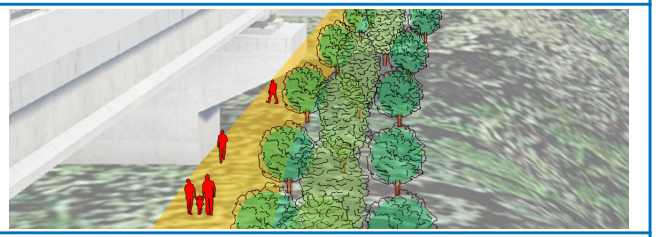
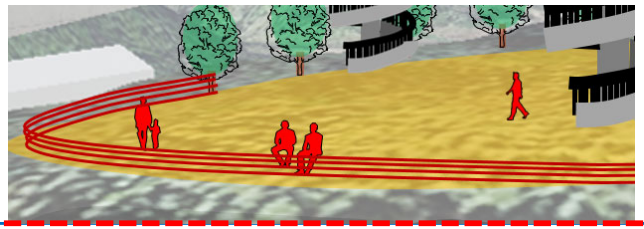
環境保全措置案及び
再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を
踏まえて対応した項目

7. 半島上の利活用について

7-3 半島上を利活用するために必要な要素の利点と課題

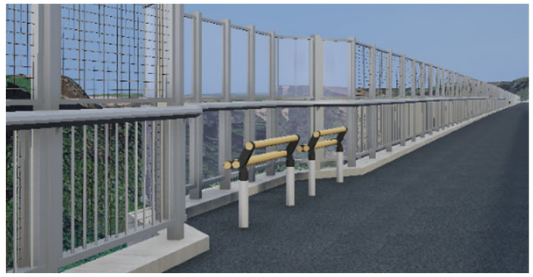
	イメージ図	利点	課題
①小網代の森の散策路への接続		●小網代の森への新しい回遊路が確保でき、特に干潟へのアクセスが向上する。 ●橋梁に付加価値ができる。 ●橋と自然により親しみを持てる環境の創出が期待できる。また、子供たちの学習環境の場としても活用できる。 ●景勝地として、観光の拠点となり得る。	●従来動線である小網代の森の散策路は、自然散策等のために訪れる人が通る悪路であり、一般の観光客が気軽に通ることは極めて困難。 ●民有地であり、公で管理する予定がない。 ●適用する管理法や、防犯上の課題も多い。 ●観光客の参入による自然状態の悪化。（ゴミ捨て、野草の持ち去り等） ●滑落等の対策が必要。 （柵、照明施設の設置等）
②橋梁からの昇降施設			
③橋脚の下または横に設ける通路			
④藤ヶ崎半島に設ける眺望スペース			
⑤橋上に設ける眺望スペース		●富士山を望める西側と、小網代の森の豊かな自然が望める東側に眺望スペースを設けることで、新しい視点場ができ、橋梁に付加価値ができる。	●外部景観への影響。 ●写真撮影等による滞留性の確保。 ●車いす利用者や高齢者の利用を想定した空間への配慮。 ●安全性の確保。

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

8. 眺望スペースの設置について

8-3 眺望スペースの構造の選定

	張出無し	サポーター構造	バルコニー構造
内部景観			
外部景観			
外部景観	外部景観への影響はない。	外部景観への影響をほとんど与えない。	外部景観への影響を大きく与える。
	○	△	×
滞留性	立ち止まることに適さない。	立ち止まることができる。	立ち止まることができる。
	△	○	○
福祉性	車いす利用者が停まるスペースはない。	車いす利用者が停まるスペースが十分ではない。高齢者は座ることができない。	車いす利用者も停まることができる。高齢者も座ることができる。
	×	△	○
安全性	安全面に変わりはない。	椅子と投物防止柵との距離が近いため、椅子を足場にして乗り出す危険がある。	椅子の高さが低いため、安全面に変わりはない。
	○	△	○
経済性	32,100（千円）	91,700（千円）	195,800（千円）

※施工費･諸経費込み（照明灯費用は含めない）

前回意見ヒアリング

- 眺望スペースとして、橋梁上部に張り出しをつくる方法は、外部景観的にあまり好ましくない。4mの歩道内で収めたほうが良い。
- 投物防止柵については、なるべく眺望を阻害しないようなものを検討していただきたい。

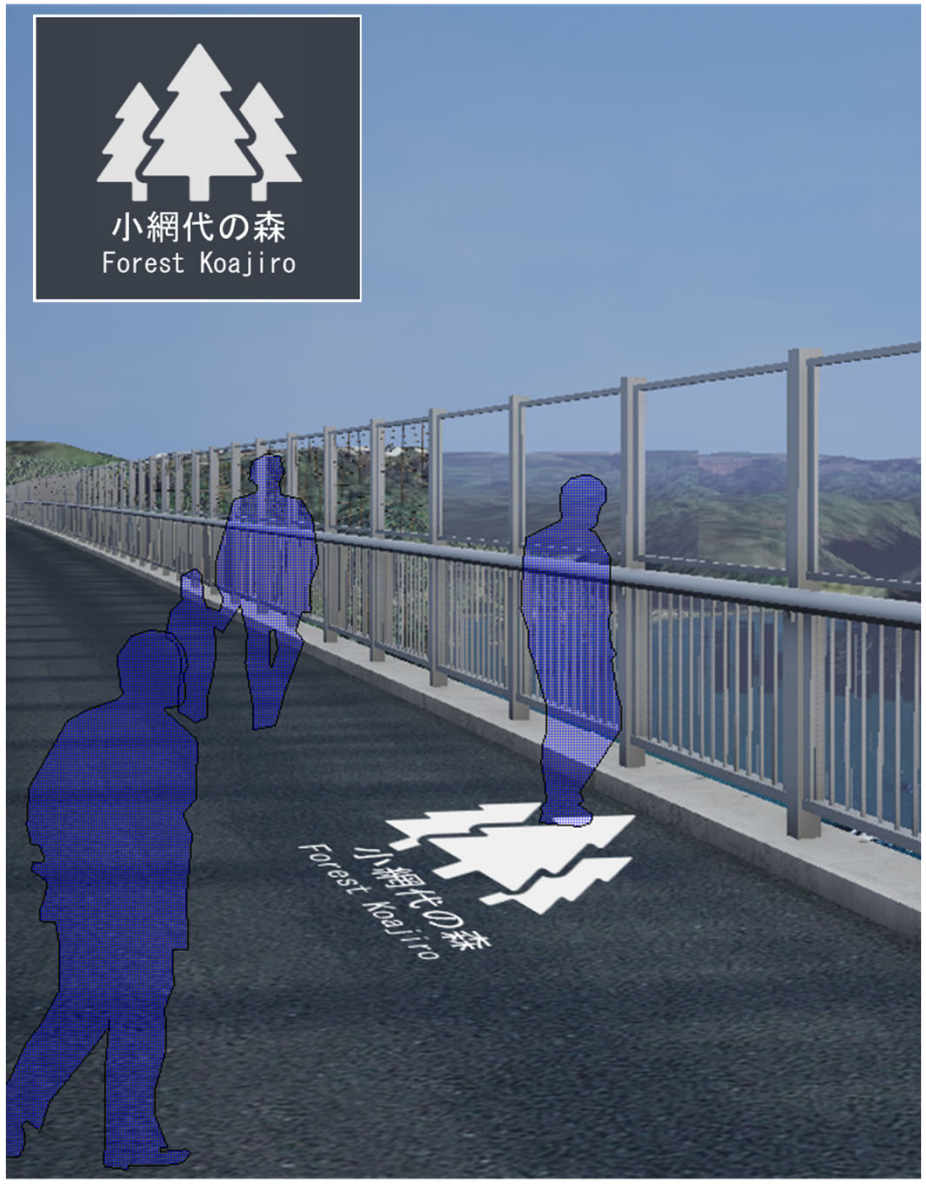
橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

■ 第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

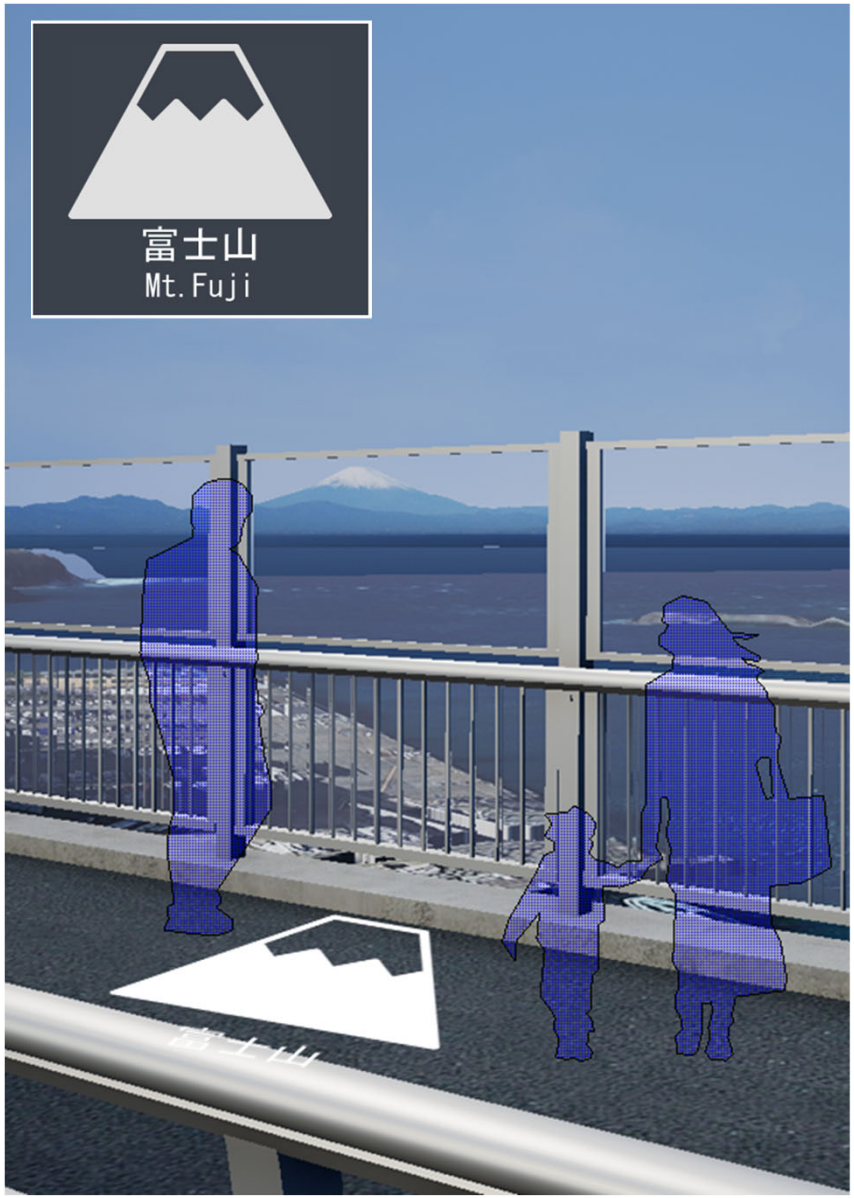
8. 眺望スペースの設置について

8-2 眺望スペースを案内するためのピクトグラム

小網代の森側（橋梁の東側）



富士山側（橋梁の西側）



橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び
再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動
第1回ヒアでのご意見を
踏まえて対応した項目

次第

○　橋梁デザインコンセプト案 及び　橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示

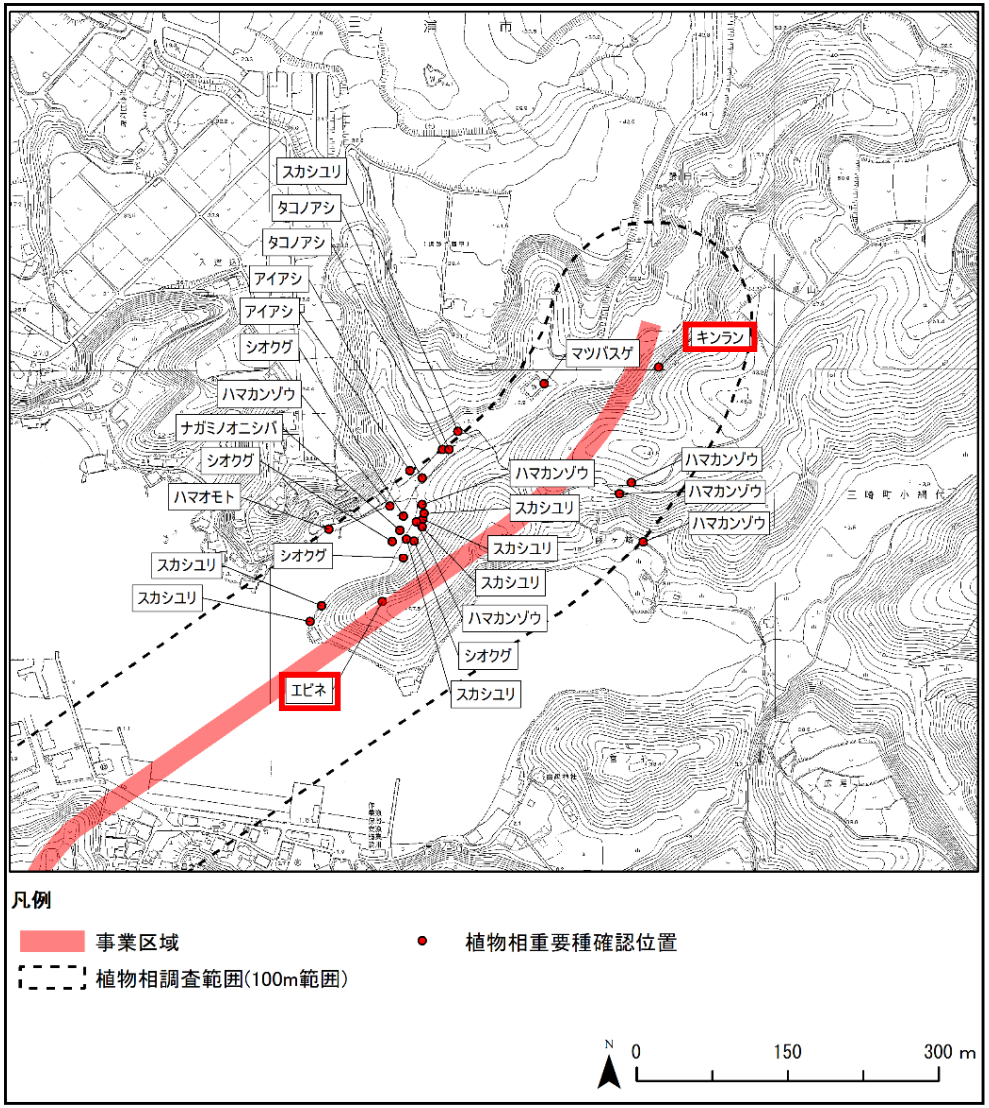
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類（投物防止柵・高欄（色））
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース

○　環境保全措置案 及び 再生計画案の提示

9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

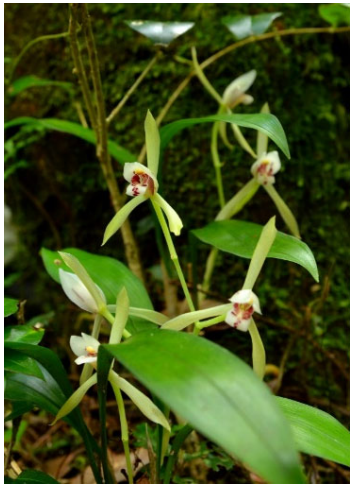
9. 環境保全措置について

9-1 環境保全措置対象種の生育確認地点



エビネ

キンラン



ナギラン※

※ナギランは現地調査で確認されなかったが、
改変区域及びその周辺において生育している場合、
整備工事による直接的・間接的な影響があると
考えられる。

直接的な影響…植物の生育地に道路を建設することで、生息地が消失・縮小すること。
間接的な影響…土地の周囲の大気や気象、光、水、土壌などの環境が変化し、
動植物の生育・生育環境が悪化または変化させること。

橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び
再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を
踏まえて対応した項目

9. 環境保全措置について

9-2 環境保全措置（移植）の実施フロー

Step 1

工事前の生育状況及び移植先候補地の状況把握

- ◆ 現地調査によって、改変区域及びその周辺に生育している対象種の位置を把握する。
- ◆ 移植先候補地を抽出し、現地調査により移植先としての適性を確認した上で、移植先を選定する。

Step 2

移植計画の作成

- ◆ 現地調査結果を踏まえ、移植時期、移植元・移植先の地点、移植方法を　　記載した移植計画を作成する。

Step 3

移植の実施

- ◆ 工事開始前に移植計画に従って移植を実施する。
- ◆ 移植後は下草処理等を行いながら移植後の生育状況を把握する。

□参考　道路環境影響評価の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集（平成27年度版）　赤字部分…第1回ヒアリングの意見を踏まえて追記した部分

キンランの
掘り取りイメージ

根鉢の保全イメージ

キンランの移植方法

- キンランは、土中の菌根菌への依存度が高いため、移植の際、キンランと共にコナラの幼木等の菌根菌も抱き合わせて移植することが必要。なお、コナラは光環境の良いところに移植する必要がある。
- 移植個体を中心に広く掘り取る。
  （事例では半径約30cm、深さ約40cm 程度の円柱形）
- 掘り取った根鉢を崩さないように根巻き等により保全した上で移植先に移動させ、植え込みを実施。

前回意見　ヒアリング

キンランは、外生菌根への依存度が高く、移植が難しい。
菌根であるコナラと一緒に植えることが一つの可能性としてある。移植のときは、コナラの幼木と抱き合わせて移植すること、またコナラはある程度光環境が良い所でないと育たないため光環境の良いところに移植することが重要である。

橋梁デザインコンセプト案及び
橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び
再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

■ 第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

10. 再生計画について

10-1 森林植生の再生の検討フロー

Step 1

現在成立している植生の把握

◆ 調査により、現在の植生を把握する。

Step 2

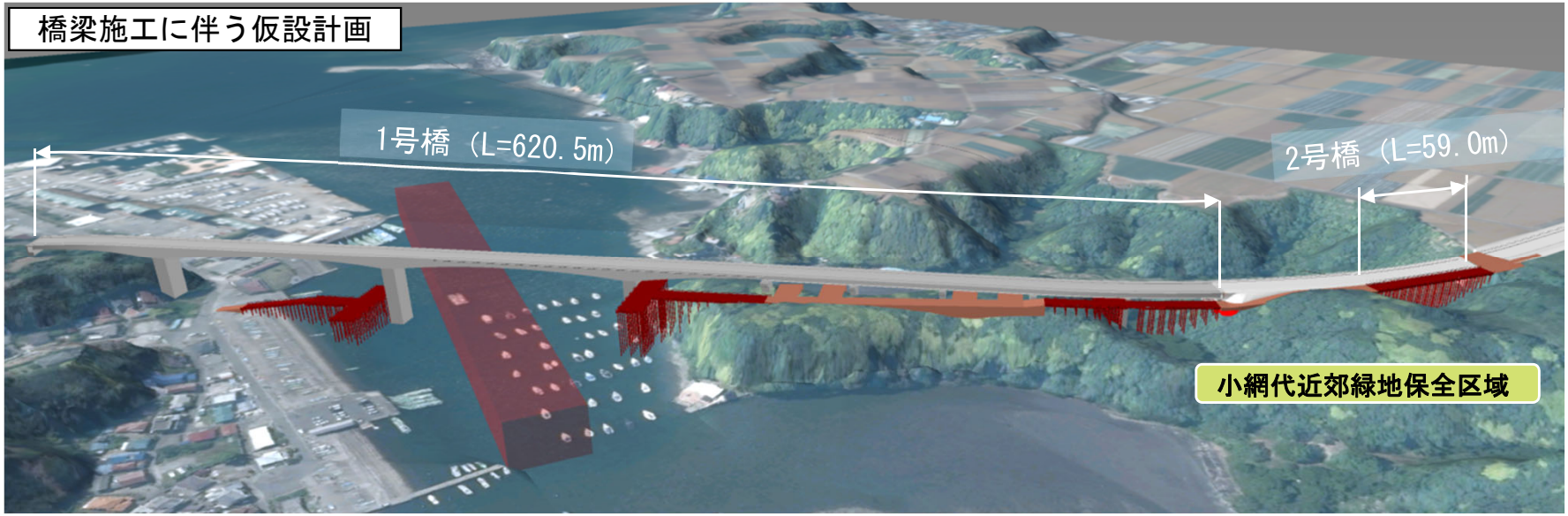
本来あるべき植生（潜在自然植生）の推察

◆ 現地調査結果から、本来あるべき植生（潜在自然植生）を推察する。

Step 3

公共事業を活用した森林植生の再生計画の立案

◆ 本事業は、地形改変および森林伐採を伴うため、工事完了後には、改変箇所の植栽基盤整備を実施した上で、潜在自然植生の構成種を植栽し、潜在自然植生の再生を図る。



橋梁デザインコンセプト案
及び
橋梁デザインコンセプト案
に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び
再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

10. 再生計画について

10-1 森林植生の再生の検討フロー

Step 1

現在成立している植生の把握

藤ヶ崎半島の台地上は、シイ・カシ二次林や先駆性のアカメガシワーカラスザンショウ群落、オニシバリーコナラ群集など、二次的な植生（代償植生）となっている。

藤ヶ崎半島の台地周辺には、スダジイ、タブノキ、シロダモ、モチノキなど、林床には暖地性のフウトウカズラが、生育している。

シイ・カシ二次林

アカメガシワーカラスザンショウ群落

オニシバリーコナラ群集

フウトウカズラ

Step 2

本来あるべき植生（潜在自然植生）の推察

ホソバカナワラビースダジイ群集と考えられる。

【理由】スダジイ、タブノキ、シロダモ、モチノキなどの常緑広葉樹や、暖地性の植物が生育しているため。

スダジイ

タブノキ

モチノキ

シロダモ

橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

10. 再生計画について

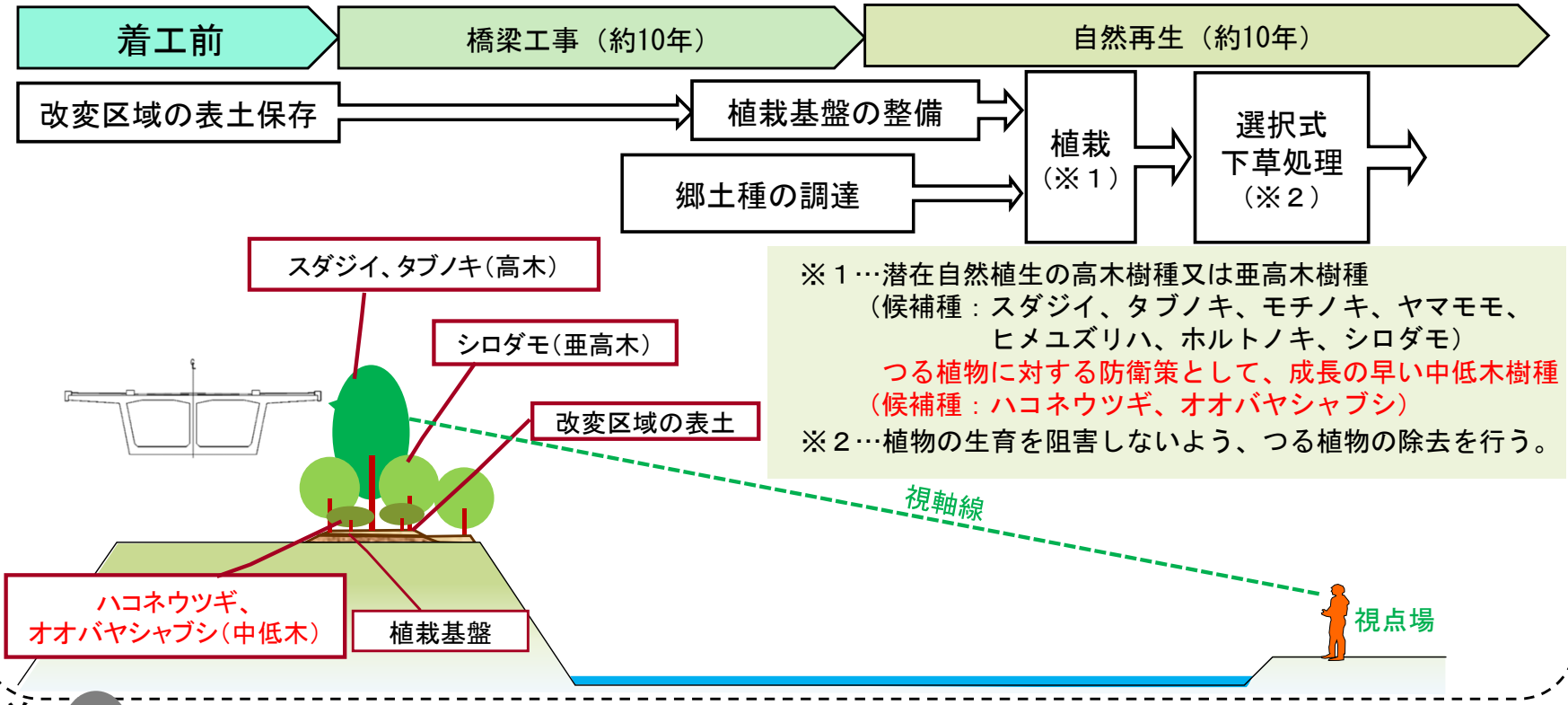
10-1 森林植生の再生の検討フロー

Step 3

公共事業を活用した森林植生の再生計画の立案

自然の遷移により植生を再生させる場合、潜在自然植生の成立には長い期間を要する。
そこで、工事完了後に、植栽基盤整備を実施した上で、潜在自然植生（ホソバカナワラビースダジイ群集）の構成種を植栽し、積極的な植生の再生を図る。

再生計画（案） 赤字部分…第1回ヒアリングの意見を踏まえて追記した部分



※１…潜在自然植生の高木樹種又は亜高木樹種
（候補種：スダジイ、タブノキ、モチノキ、ヤマモモ、
ヒメユズリハ、ホルトノキ、シロダモ）
つる植物に対する防衛策として、成長の早い中低木樹種
（候補種：ハコネウツギ、オオバヤシャブシ）
※２…植物の生育を阻害しないよう、つる植物の除去を行う。

前回意見ヒアリング

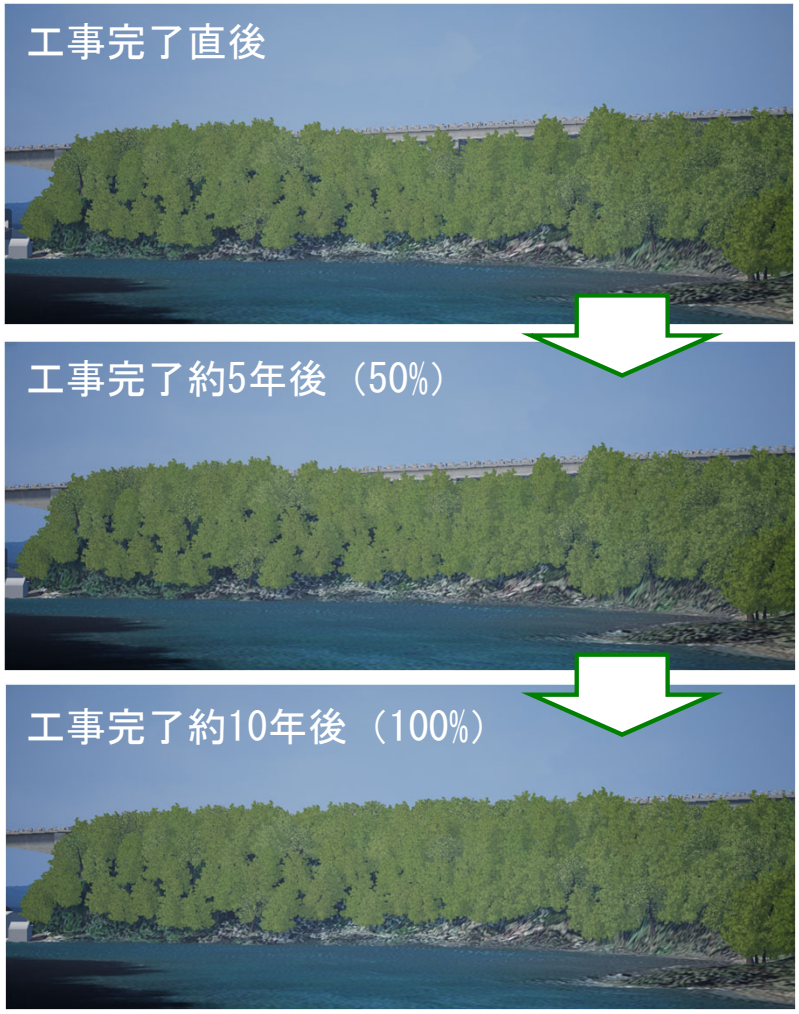
つる植物に対する防衛策として、常緑の木を植えた後、その周りに成長の早いハコネウツギ、オオバヤシャブシなどの中低木でガードすることも考えられる。

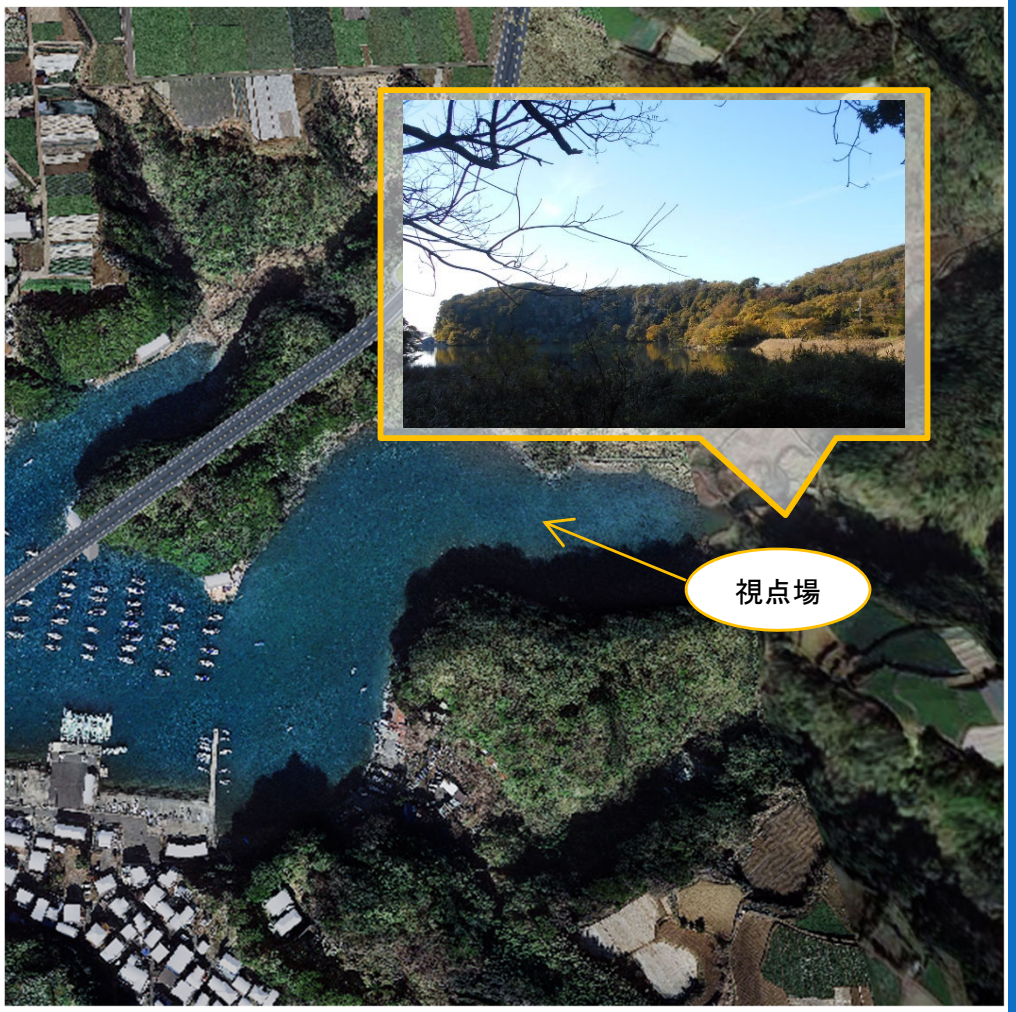
橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

10. 再生計画案について

10-2 視点場（宮ノ前階段）から望む植生の変遷





前回意見（オープンハウス）

- 三浦市の観光地の一つである小網代の森から海を望んだ際のスカイラインへの影響を最小限にしてほしい。
- 橋梁をなるべく自然に溶け込んだイメージにしてほしい。

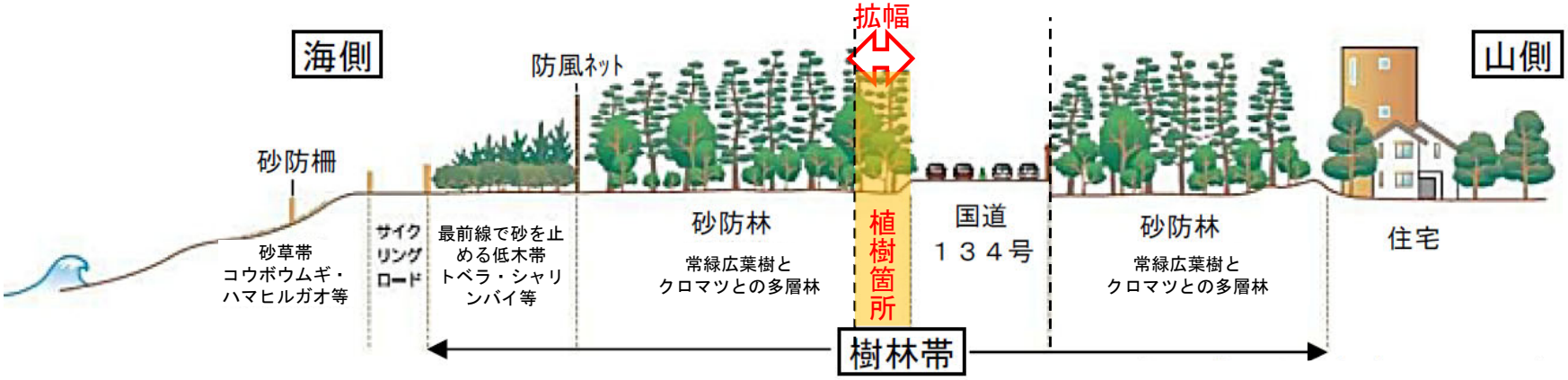
橋梁デザインコンセプト案及び橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動

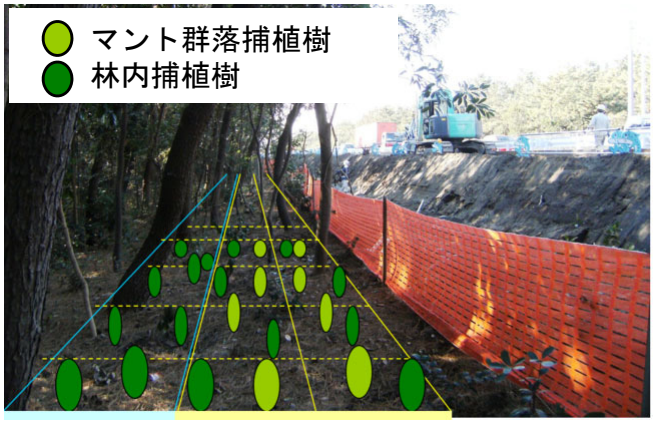
■ 第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目

11. 地域活動について（植樹イベントの事例）

国道134号4車線化に伴う砂防林（樹林帯）の復元　（平成24年）

時期：平成24年3月
参加人数：約40名（地域の自治会へ回覧による募集）
活動内容：砂防林内において、常緑樹の苗を約400本植樹。





↑植栽イメージ

↑植栽状況

↑植栽状況

前回意見（ヒアリング）

潜在自然植生の再生にあたっては、地域の人も参加できるプログラムを考えられると良い。

橋梁デザインコンセプト案及び
橋梁デザインコンセプト案に基づくデザイン案の提示
1. デザインコンセプト
2. 上部桁・橋脚
3. 美観対策
4. 柵類
5. 歩道舗装
6. 照明
7. 半島上の利活用
8. 眺望スペース
環境保全措置案及び
再生計画案の提示
9. 環境保全措置
10. 再生計画
11. 地域活動
第1回ヒアでのご意見を踏まえて対応した項目